



勝ち負けより、絆を
紅白激突!
フラワー大運動会開催!

去る十月十二日、フラワーハイツ二階ホールにて、毎年恒例の運動会が賑やかに行われました。紅組と白組にわかれ、それぞれ向かい合っで見守る中、ご利用者のN様とT様による選手宣誓が声高らかに会場に響き渡りました。皆の気分が少し高まった後、新人さんたちによる応援合戦とエール交換、信濃の国に合わせたリズムカルなダンスにより、一気に運動会特有の熱気に溢れたムードに。テンションが高揚したところで、早速競技が始まったのです。

最初はメイン競技といってもいいであろう大玉送り。この競技のために、今まで多くの練習量をこなしてきたご利用者の皆さん。一秒一コマでも相手チームより早く、一所懸命に手をだし、自分たちの膝の上を転がすのでした。また、大玉を持ち運ぶ職員にも熱が入ります。次に運試しということで、引いた紐を結んでいて、長い方が勝ち、という競技。運の良さが試されるこの競技。皆さん、なかなか運の良さを発揮しておりました。

その後、トライアスロン顔負けの職員競技が挙行され、ご利用者はその圧巻の発熱プレーにより、テンションは最高潮に。そして、紅組がリードしている状況の中、どんでん返しが期待される最後の競技、玉入れがおこなわれました。高得点枠目がけて機関銃のように玉が放たれ、このハレ空間を鮮やかに締めくくったのでした。

結果は紅組が勝利を収めました。お互い健闘したということで、勝ち負けを超越した絆が生まれるのを感じさせたのでした。

デイケア通信



十二月十六日～十八日に、デイケアにて調理実習を行いました。「オムレット」というお菓子を作ったのです。それは、クレープの様な生地にはちごとバナナ、生クリーム、チョコレートに乗せて巻いたお菓子です。ご利用者にはホットプレートで焼くところから行って頂いたのですが、皆様とても上手に焼くことが出来ていました。完成したお菓子の味はとも好評で、中には「毎週食べたい」と仰って下さった方もいらっしゃいました。皆様に満足して頂けたように、とても良い時間になりました。

芋煮会



秋も本格的になってきた十月中旬。十三日から十七日までの五日間、フラワーハイツでは毎年恒例の芋煮会がおこなわれました。今年も昼食の時間を使って、中庭で秋の日差しを浴びながらの食事を予定していましたが、あいにく大型の台風が重なってしまい、月曜日から数日間は雨降り。残念ながら中庭は諦めて、最終日の金曜日以外は屋内での食事会となりました。当日はメインとなる芋煮の他にも、炊き込みご飯や秋の味覚のぶどう、焼き立てのほかほかの焼き芋も並び、テーブルが賑やかに彩られました。

普段会うことのない違うグループの方とのお食事に、参加されたご利用者様も「珍しい人と話が出来た」とおもしろい食事に舌鼓を打ちつつ楽しまれた様子でした。外に出られなかったのは残念でしたが、その分おしゃべりに花を咲かせたり、歌で盛り上がりたりと、ご利用者様と一緒に職員も楽しませて頂きました。

楽曲 踊り、仮装

聖なる夜の前余興!

フラワートクリスマス会開催!

十二月十四日、今年も毎年恒例のクリスマス会をおこないました。

今年は雪も早く、うつつらと地肌を覆いつくし、幻想的で、少し早目の聖夜を迎えました。『かすみ草』の方々の大正琴の演奏に合わせ、ご利用者のみなさんが一緒に歌をうたい、ゆあーず様とひまわり様のフラダンスを見て、楽しいひと時を過ごしていただきました。昼食には、いつもは目にするのではないクリスマス特別メニューである、五平餅やうなぎがのったちらし寿司、グラタン、そしてシャンパン等、豪華な料理に舌鼓を打ちました。



ご利用者様より、「サンタクロースからの素敵なプレゼントを頂いたような気分がしたよ」と、大喜びしておりました。



メリークリスマス!

作品展



今年も、施設内外から数多くの芸術作品が出された作品展。十一月九日〜十七日の約一週間にわたり、公開されました。例年と同様に、今回も順天寮の方からの作品や、施設内利用者の作品、デイに通う方の作品、そして職員作品など、バラエティに富んでおりました。今年の目玉はなんとといっても、共同作品であるちぎり絵の「富士山と美保の松原」でありました。見に来られた方々は、みな「良かった」と言ってくれました。来場された皆様、ありがとうございました。

耳寄り情報 介ゴより

「職業としての介護入門書」

老人介護という職業が登場し、かくまで発達してきたのがつい最近のことであるという事実を知ると、「介護とはいったいなんぞや」という疑問と不安をさらに増幅させてしまいます。特に、第一線で働いている職員の多くはそう感じているのではないのでしょうか。現場で働いているだけでは不十分ではないか、と。何か手がかりがほしい。そんな欲望に応えてくれるのが、以下に紹介する媒体の数々です。

まずは、「職業としての介護」というものは、如何にあるべきか」ということについて考えさせてくれる介護漫画『ヘルプマン!』シリーズ。介護という、題材としてはとっつきにくかった対象を積極的に取り上げ、漫画化したこの作品。介護

虐待」「老人の性」「介護職員待遇」「認知症ケア」「介護保険制度」「監査」等々、介護職の人間ならば誰もが避けては通れないであろうテーマが数多く描かれ、深い示唆に富んでいます。

次に、介護職、特に若い介護士にとって未知の領域である傾向のある家族介護の現状にスポットライトを当てた小説、『黄落』。老いとは何か、家族とは何か、ひいては人間とは何か、といった文学の王道をなぞりつつも、現代日本の家族介護の一風景がリアルに描破されていて、とても勉強になります。

介護職に必要なのは確かに介護技術やコミュニケーション能力、気づき等なのかもしれませんが、その土台には、介護というもののイメージの豊かさ、視野の広さというものがあってもいいでしょうか。それらを鍛えるといった意味でも、上記の作品たちは心強い友になってくれるでしょう。

行事予定

1月14日 初釜

事務所からのお知らせ

小中学校、保育園等でインフルエンザが流行しています。また、施設内でも発症が確認されているため、しばらくのあいだ、中学生以下の面会はお断りしています。また、一部でご利用者との面会を制限する場合がございます。ご理解をお願いいたします。

編集後記

うございます。今年も宜しくお願ひ致します。すつかり寒くなり、風邪等が流行しています。鍋などの温かいものや蜜柑などのビタミンたっぷりの果物を食べて、免疫機能を高めましょう!